

区民と区長のタウンミーティング（2023年7月20日開催）

テーマ：「ゼロカーボンシティなかの」の実現に向けて、今私たちができること

中野区内における、脱炭素を目指した取り組み	
	区民が家庭の家電製品を、新しい省エネ性能の高い家電製品に買い替えることで、電力消費が抑えられ、高いCO2削減効果を出すのではないかと考える。例えば、行政から区民に対し、古い家電製品の買い替えに対する補助金や電気自動車の購入に対する補助金を出すことによって、そのきっかけ作りができると考える。
	行政から区民に対して、どのような行動がCO2削減に効果的か、正しい情報や知識を教えてもらえる、個人への良い意識付けになると考える。個人の取り組みや行動が、どれだけ環境に良い影響を与えたか、ゲーム性を取り入れた形で成果が数値で分かる仕組みが取り入れられないか。
	これから再開発が進むなかで、区民は環境への影響に興味が出てくると思う。中野区の脱炭素社会に向けた取り組みや情報を、共有できる場所を作ってほしい。
	落ち葉や剪定枝を収集し、ごみとして焼却せずに堆肥化すると、焼却するCO2の排出を押さえることができ、また堆肥として活用することができるので、検討してほしい。
	30年後に目指す脱炭素社会に向けて、次世代への教育が必要だと考える。学校などでの教育活動を通じて、子どもたちへの意識付けをしてもらいたい。
	中野区内の再開発時に建設する建物は、建物内でエネルギーの消費量を正味ゼロにするZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の実現を義務付けてほしい。
他自治体や企業と協力した、脱炭素を目指した取り組み	
	他の地方自治体と、森林整備などの環境に関する取り組みの協力を一層進めてほしい。中野は環境以外の分野でも、様々な自治体と連携をしている。それらの自治体と、環境分野での提携もできるのではないかと考える。
	中野区内には、再生可能エネルギーを生産できる大規模な場所が無い。他の地方自治体や企業と連携し、地方で生産した再生可能エネルギーを中野区内に供給してもらうような仕組みづくりをしてほしい。